

## 児童数の推計

(新1年生の人数)

※1学級35人で計算

※平成29年8月31日時点の社会増減を考慮しない新1年生の推計値

※特別支援学級に入級する児童数を考慮すると1学級あたりの児童数はさらに減となる。

学校名	2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023	
	人数	学級数												
東小	77	3	65	2	63	2	76	3	78	3	66	2	59	2
坂の上小	51	2	61	2	45	2	41	2	30	1	43	2	41	2
野岸小	53	2	40	2	47	2	41	2	56	2	39	2	44	2
水明小	59	2	58	2	56	2	42	2	43	2	35	1	43	2
千曲小	16	1	13	1	14	1	26	1	11	1	17	1	11	1
美南ガ丘小	103	3	93	3	106	4	112	4	90	3	96	3	83	3
合計	359	14	330	12	331	13	338	14	308	12	296	11	281	12



## 中間報告会の様子・出された意見

当日は、約80名の方にご参加いただき、様々なお立場からご意見をいただきました。その一部をご紹介します。

- ・とてもわかりやすく良かった。この趣旨に合う素晴らしい学校と、将来を担う子どもたちを育てていくということを大前提に進めて欲しい。
- ・学校評議員は、学校運営に深く関わっている。学校や地域がどう考えているのかなど、各校の評議員の意見を吸い上げる機会を設けて欲しい。
- ・学校が地域のために果たしている役割と、地域が学校に対して寄せている想いの両方がある。地域とのつながりをもう少し検討して欲しい。
- ・建設費と財源等の資料があるが、予算の範囲で教育を考えるやり方と、理想の教育の姿を実現するために必要な財源を確保するというやり方の二つの方法があると思う。多少お金がかかっても、税金が上がっても、将来の子どものため、将来の小諸市のためにお金をかけようという発想の小諸市であり、小諸市民でありたい。

## アンケートより

- ・「望ましい規模」の1クラス20~30人、1学年2~3クラスについては「妥当だと思う」という回答がいずれも70%を超えました。また、統廃合の検討については「すぐにでも」が約35%、「将来的に」約50%と、大半の方が統廃合の検討は必要だという結果でした。
- ・「小中一貫校の説明を聞いて、実現に向けて検討を進めてほしい」「統合するにはスクールバスも検討してほしい」など、統合に向け前向きな意見と、「地域から学校がなくなるのは考えられない」「小さくても現状で」という反対の意見、また「統廃合後の地域や校舎について」「多くの保護者からの意見が必要」「子どもたちの意見を聞いてみたら」など、多岐にわたるたくさんの意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

検討会では中間報告会で皆様からいただいた意見を参考に、「子どもたちにとって、より望ましい学校とは？」を中心に『たたき台』の提言に向けて、今後も検討を続けてまいります。「広報こもろ」では今後の検討会の状況を随時お知らせしていきます。ご意見等はいつでもお受けしていますので、遠慮なくお寄せください。

※中間報告会の資料やアンケートの集計は、市ホームページでご覧いただけます。  
また当日の資料については、学校教育課の窓口でお渡しいたします。

☒ 学校教育課 教育総務係